



第8回食育活動表彰
農林水産大臣賞

ボランティア部門【食生活改善推進員の部】

農林水産大臣賞

兵庫県いずみ会

[兵庫県：活動期間49年]

日本型食生活で免疫力を高めよう
重点課題 ～野菜たっぷりバランスのよいごはんを食べよう～

バランスの良い食生活を習慣化するための取組

朝食欠食や内容の過不足等、食生活の乱れが人々の健康を害する要因として問題視されています。兵庫県いずみ会では、幼児、学童とその保護者をはじめ、食の自立期である思春期、青少年期、未来の親世代など幅広い年代に向けてバランスの良い食生活の習慣化を啓発し、生涯にわたる健康づくりに寄与することを目的とした取組を進めています。2023年度は、子育て世代の男性と子どもを対象とした調理実習を実践したりと対象層を拡大し、各年代のニーズや実態に応じた具体的なスキルを伝達しています。



お父さんと一緒に作ってみよう！

幅広い層に向けて取り組んでいます

講習会・訪問活動による バランスの良い食生活の習慣化支援

講習会や調理実習を並行して行うことで、対象者の食への理解が深まるとともに実践力も向上し、バランスの良い食生活の習慣化に繋がります。新型コロナウイルス感染症の影響で講習会や調理実習が実施できない場合は、訪問活動やICT技術を活用した情報発信などを通じて、状況に応じた食育活動を行っています。



学校に足を運び若者の自立をサポート！



コロナの影響で調理実習ができなくても様々な方法で発信

ごはんを中心とした主食・主菜・副菜のそろった日本型食生活を推進

参加者の日常生活に、ごはんを中心とした主食・主菜・副菜のそろった日本型食生活が定着することを意識し、指導を行っています。また、「ごはんを炊くことができる子ども」を増やすため、調理実習の中ではごはんを炊くことを取り入れるなどの工夫をしています。



子どもの頃からごはんを炊けるように教えています



一杯ずつ丁寧によそいます



みんなで楽しく調理実習！



この度は、素晴らしい賞をいただき大変光栄に思います。兵庫県いずみ会の活動に対し、永年にわたり、多くの関係者の皆様のご協力をいただき、発足50年を迎えます。これからも、子どもから高齢者まで各ライフステージに合った活動を、会員一同力を合わせ、食を通した健康づくりに励んでいきたいと思いをします。

兵庫県いずみ会一同